

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 4-4(200)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和4年6月16日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

モミ蒔きの支援

市内の学校では、稲作の学習で早苗の準備から田植え、稲刈り、脱穀、学校によっては餅つきまで計画されている学校があります。各学校での取り組みをお知らせします。

まず、モミ蒔きをして早苗の準備をしているのは旭小学校、市来小学校、川上小学校、羽島小学校です。どの学校も育苗箱を使って準備していました。田植えをするほかの学校では、業者さんや JA からの早苗を使用して田植えをするところもあります。

モミ蒔きをする学校ではどこも同じように、次のような方法で作業されています。

育苗箱、培土の準備、種モミ（選別、消毒、催芽）、モミをまく、水かけ、日光に当てるなどの作業です。作業方法を知らない児童には難しいですが、児童は地域で自分でも稲作をされている方に手順を教えてもらいながら、モミ蒔きに挑戦していました。



川小；準備できた8枚の育苗



旭小；少ないモミを皆でまいた



川小；隅っこまで丁寧にまいた



旭小；早苗の葉はやわらかい

照島小学校では、田植えの準備としてジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）が田んぼに多いので、毎年田植え前にジャンボタニシ捕りをして少しでも稲への害がないようにしています。今年は、6月2日（木）に行われました。昨年より大きなジャンボタニシがたくさん捕れました



照小；ジャンボタニシよ どこ

田植えは、6月11日（土）に、羽島小学校、荒川小学校、市来小学校、20日（月）照島小学校、22日（水）に川上小学校で計画されています。旭小学校では、田植えのかわりにバケツを使って稲の栽培をするので、苗が伸びたところで土を入れて準備したバケツに植えこむ作業が予定されています。



照小；最後は、泥んこドッジボール～

課題研究発表時の支援

生冠中学校では、6月1日（水）に3年生の課題研究の発表会がありました。課題は、「平和について」でした。総合的な学習時間6時間内に、3年生12名がそれぞれに「平和」に関する問題をインターネットなどで調べ、まとめたものをプロジェクターで投影して5分間で発表しました。



12名の生徒が、「平和」の課題としてとらえた点は、「ウクライナとロシアの戦争」「戦争、特攻隊・子供兵」「沖縄の問題・第2次世界大戦」「戦争費・軍備費の拡大」「原子力」「ピースデー」など様々で一人一人の関心がすごく多岐にわたっていることが発表を通して分かりました。

多くの生徒からは、「平和に関心を持ち、自分の意見を持つこと。」が重要であるという意見が出されました。

課題をとらえて、調べてまとめることも大変ですが、クラスのみならず学校運営協議会委員の方々、校長先生の前で自分の考えや意見を発表することは貴重な体験になったと思います。

発表の内容では、グラフや写真などのほか、言葉を対比させて違いを強調したり多くの工夫をして、いかにみんなに自分の思いを知らせ、わかってもらえるか努力した様子が見えました。6名ずつ前半、後半分かれての発表でした。発表者は、初め大変緊張していましたが、時間がたつにつれて落ち着き、堂々とした発表をしていました。友達の発表を聞いて人の考えや話し方などにアドバイスを書く時間も設定され、進行役、時間計測の係なども生徒の分担で進められました。

発表が終わって、3人の委員の方々一人ずつ感じたことを話してもらいました。「よく調べ、自分の思いを時間内に発表できたことはよかったです。よくわかるようにゆっくり、声を大きく話してくれるとより一層わかってもらえますよ。」という感想をのべてもらいました。

7月に入ると学年ごとの発表会が、それぞれの日程で学年ごとに日を変えて計画されています。生徒たちは、その日に向けて、課題解決のための方法を調べ、考察しながら発表内容をまとめていることでしょう、



連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会社会教育課
(Tel 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
統括コーディネーター (串木野地域 濱田俊浩) (市来・生福地域 有元 操)

